



令和7年度

# 学校だより

小金井市立前原小学校 校長 小柳 政憲

4月7日発行 No. 1

小金井市前原町3-4-22

TEL 042-383-1146

FAX 042-382-2046

HP: <https://www.maehara.school>

## 全員成長！

校長 小柳 政憲

寒暖差が激しい日々が続きましたが、そのおかげで暖かで柔らかい日差しの中、3月に卒業式が行われ、本日は、桜を楽しみながら子供たちの進級や入学を祝うことができました。今年度は101名の新しい仲間を迎えました。入学を歓迎する出し物を練習してきた、在校生を代表して参加する2年生、最高学年として春季休業中に学校に集まり、新年度の準備をしてくれた6年生をはじめ、今日の子供たちは、いつもより緊張しながらも誇らしげな表情をしているように見えます。始業の日というのは、不安の中にも希望のほうが大きいのだろうと思います。毎年改めて、子供たちのこの気持ちを大切に育てていきたいと決意します。今年度も、保護者の皆様や地域の皆様と共に力を合わせて進む、前原小の伝統をつなげていきましょう。

さて、本校は今年度620名でスタートします。昨年度より児童数が増え、学級数も1クラス増えました。転入してくる児童が増えうれしいことです。世の中に目を向けると、日本は今、人口の大減少時代に入っているという情報があります。1年間に83万人も減少しているのです。10年後には883万人減少するというから、大阪府がなくなるくらいの勢いです。そして、現在日本の人口は約1億2000万人なのですが、28年後には、1億人を切り、60年後には6000万人台となり、今の半分になると予測されています。経済面でいうと、買い手が半分になり、公共交通機関を利用する人も半分になるということを考えると、社会のあり方もずいぶんと変わるのだろうと予想します。また、AIの進歩も想像以上に早まると耳にすることが多くなりました。学校教育の在り方も、今後大きく変わっていくでしょう。そんな変わっていく世の中でも、子供たちには、自分らしく、そして自分が成長することや人のために何かできることに幸せを感じながら生きてほしいと願います。未来を見据えた教育を行えるよう、私たち教員も学び続けていこうと思います。

今年度は、小金井市の研究奨励校としての2年目になります。研究の成果を、令和8年2月13日に発表します。どんな未来であっても、自分の思いを伝え、互いが心を通わせて協力する力が高まるように、「対話」に焦点をあてて研究をしてきました。「自分の思いを伝えることが苦手な子が、どのように変容するか。」「自分の思いを相手の立場や状況を考えながら伝える力がどのように伸びるのか」を算数という積み上げ型の教科の授業を通して追究しています。難しい研究テーマなので、今後どこまで深められるか分かりませんが、子供たちの自尊感情を育むために、全力で取り組んでいこうと思います。スローガンは、「**全員成長!**」です。市内の教員の研修も兼ねますが、保護者の皆様にも公開したいと思います。全員が成長する姿を楽しみに、ご来校くだされば幸いです。令和7年度もよろしくお願ひします。